

竜丘時報

長野縣下伊那郡竜丘村三番地
編輯兼 後藤 兼義
印刷人 竜丘青年會
代表者 中島今朝雄
龍共社印刷所

學校を出て社會に入る人の爲に

論壇

一、學校は學ぶ處、社會は活動する處、大體定まつておるが、社會へ出たから云つて學習的態度を捨つればその人は先の止まつた人だ。そのなるに進歩がなくなる。進歩がなくなるに、退歩なる。そう云ふ人は早老する故に常に一年生氣分で何か學ぶ氣分で居るが肝要だ。人は一生涯修行で、學問にせよ、仕事にせよ、活氣はそこに生ずるに存じます。

青年學校へ入る人の爲に

昔の青年

△青年期は人生最大最要の分岐點だ。この分岐點に立つて取捨宜敷を得るに否かは一生の浮沈、幸不幸の分る、處だ一人にまつても、一家にまつても、一國にまつても、青年の良否の事はその全運命を支配するその参考として左に△善き見れば小なりとも國を爲し、惡き見れば小なりとも處して爲さずさ處心する事。

農村中堅△△△△青年講習會に出席して

二月廿八日より三月三日迄の五日間の中堅青年講習會に出席してその大要を記す

- 一、起床(振鈴) 午前五時半
- 二、皇國運動 全六時
- 三、行事全 六時半より
- 四、朝食(振鈴) 全八時半
- 五、講義 全九時より
- 六、實食(振鈴) 午後零時半
- 七、講義 全一時より
- 八、美化作業 全四時より
- 九、夕飯(振鈴) 全六時
- 十、座談會 全六時半より
- 十一、行事 全八時半より
- 十二、就床(振鈴) 全九時半

近頃感じた事

北斗生

▲紙面の都合上亂文を謝す
木下幸男 原良一 下平水 城 下平香雄

▲施米
今年の降雪は例年になく多かつた、戸外の労働が唯一の生活者には活し難い冬であつた、或るしみる夜である、村丙某氏の依託を受けて施米を背負つて歩いた私は其の人の志をさうしたら誤解ない様に渡せるか、又卑屈な心持を湧かせないで受取つて貰へるか心に願つて所以を話し若干のお米を渡した。

時局認識

老人「何か知らんが恐ろしい御時世になりましたわい、之からさうなるか」暗然としてつぶやいてゐた。

二、人には運命、境遇の奴隷となつて一生其處を出ぬ人、之を突破し、建直して、新紀之を開拓する人、形はその境遇に束縛せられてゐても之を改善して行くひこである。社會に出る門出に當つて大いに考ふべき事である。

△物質的には百個の穴を五十個ではうめる事が出来ないが精神的には小さな大穴もうめ得ない事は無いと信ずる事。夫の那翁が我が字畫には不能と云ふ字はないと云はれたのはこの意味だと思ふ。

△少年が青年會に入るに急に空氣が違ふ、うっかりするに生意氣になる、この時の用心は年上のひこも同輩氣分にならぬ事だ、又年上のひこでも自分より劣つて居る人と思へるひこもある、然し年長者は上のひこも心得何處迄も謙虛の態度を以つて之に接する事だ、こゝに蘊蓄も出来信用もつき徳性が養へるのだ。

△苗にして秀でず、云ふ格言があるが自分が少しひこより優つて居る人がやたらにへばく見えて知らず、謙虛自重の態度を失つて出過ぎるやうになり、ひこには生意氣云はれ自己の進歩も止る様になる、こゝを氣を付けければお嫁に行つても大丈夫だ。

△三、買初めに主たる品物を第一考へるか、景物を第一考へるか、こう云へば判り易いが人の一生には主客混同し易い、我が任務を爲し使命を全うするを以て主とする人にはそれによりて獲たる名譽利得は副産物、景物だ。名譽利得を目的と考へる人には働きは方便だ、されば方便なる働らきをば或る人は減少して名利を増收せんとする、随つて名利をも失ふ事が多い、任務を爲すを良とする人には名利は求めずして來る事が多い生一本の青年期の門出には主客混同せぬ用心こそ望ましか

△三、買初めに主たる品物を第一考へるか、景物を第一考へるか、こう云へば判り易いが人の一生には主客混同し易い、我が任務を爲し使命を全うするを以て主とする人にはそれによりて獲たる名譽利得は副産物、景物だ。名譽利得を目的と考へる人には働きは方便だ、されば方便なる働らきをば或る人は減少して名利を増收せんとする、随つて名利をも失ふ事が多い、任務を爲すを良とする人には名利は求めずして來る事が多い生一本の青年期の門出には主客混同せぬ用心こそ望ましか

△三、買初めに主たる品物を第一考へるか、景物を第一考へるか、こう云へば判り易いが人の一生には主客混同し易い、我が任務を爲し使命を全うするを以て主とする人にはそれによりて獲たる名譽利得は副産物、景物だ。名譽利得を目的と考へる人には働きは方便だ、されば方便なる働らきをば或る人は減少して名利を増收せんとする、随つて名利をも失ふ事が多い、任務を爲すを良とする人には名利は求めずして來る事が多い生一本の青年期の門出には主客混同せぬ用心こそ望ましか

△三、買初めに主たる品物を第一考へるか、景物を第一考へるか、こう云へば判り易いが人の一生には主客混同し易い、我が任務を爲し使命を全うするを以て主とする人にはそれによりて獲たる名譽利得は副産物、景物だ。名譽利得を目的と考へる人には働きは方便だ、されば方便なる働らきをば或る人は減少して名利を増收せんとする、随つて名利をも失ふ事が多い、任務を爲すを良とする人には名利は求めずして來る事が多い生一本の青年期の門出には主客混同せぬ用心こそ望ましか

桑園の施肥に就て

宮澤生

もう三月も中旬だといふのに今年の寒さは亦格別である...

最近動々もすれば桑葉の安値生産を圖らうとして往々に肥料の節約を圖り、甚しきは...

この超非常時にあつても蠶絲業の開發は何と云つても、養蠶經營の改善、殊に生産コストの低減にある。

養蠶經營の改善、殊に生産コストの低減にある。就中其の中心問題は桑園經營の改善による...

養蠶經營の改善、殊に生産コストの低減にある。就中其の中心問題は桑園經營の改善による...

養蠶經營の改善、殊に生産コストの低減にある。就中其の中心問題は桑園經營の改善による...

養蠶經營の改善、殊に生産コストの低減にある。就中其の中心問題は桑園經營の改善による...

養蠶經營の改善、殊に生産コストの低減にある。就中其の中心問題は桑園經營の改善による...

Table with 2 columns: Item (大豆粕, ニンシヤ粕, etc.) and Amount (1, 2, 3, 4).

Table with 2 columns: Item (堆肥, 石灰, etc.) and Amount (1, 2, 3, 4).

Table with 2 columns: Item (大豆粕, ニンシヤ粕, etc.) and Amount (1, 2, 3, 4).

Table with 2 columns: Item (堆肥, 石灰, etc.) and Amount (1, 2, 3, 4).

Table with 2 columns: Item (堆肥, 石灰, etc.) and Amount (1, 2, 3, 4).

Table with 2 columns: Item (石炭, 硫酸, etc.) and Price/Amount.

Table with 2 columns: Item (大豆粕, ニンシヤ粕, etc.) and Price/Amount.

Table with 2 columns: Item (大豆粕, ニンシヤ粕, etc.) and Price/Amount.

Table with 2 columns: Item (大豆粕, ニンシヤ粕, etc.) and Price/Amount.

Table with 2 columns: Item (大豆粕, ニンシヤ粕, etc.) and Price/Amount.

論に過ぎず従つて其の足らざる處極めて多大なり賢明なる諸彦には取捨選擇して活用あらん事を望む(三月十三日稿)

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

昭和十年七月以降糸織別算二依ル 絲價ト本組合ノ出荷量ト糸格

御入学の御祝に學用品を 御進級 菱菓子を御利用下さい

御入学の御祝に學用品を 御進級 菱菓子を御利用下さい

酔止薬と鼻と腦の薬 自動車、電車、氣車、船等

春向の菓子色々出ました 藤屋菓子店

入學の御用意 雛人形お賣出し 佐々木屋洋品店

百八十戸の光明

無盡負債整理成る!

月ヶ瀬の再現『桐林區』

農村疲弊の悲曲も此處數年來叫喚はれ続けて来た今日。大正七、八年の物價暴騰と共に表れ農村を榮華の夢へ轉落せしめた約價を始め、米價の高調この時代によつて結ばれ成り立たる民間に於ける無盡は不況最極の現在に至るも、弊

月ヶ瀬を以つて返済調定を基準とした割引歩合はその者の經濟狀態、財産によりて異なるも、負債總額に對する最高七割、最低一割回収の七等位に分ちて弊債を切り下げ、今後五ヶ年間の期間内に必ず完納する事とす。

余萬圓にて、一戸平均三割程度の回収にて整理し得るさいふ最善の方策を考慮研究したものに於て、衆人誰人共温情解決。

無盡の整理、この莫大なる負債整理案成りて一路解決へ、伊那の月ヶ瀬村にして希望に於て完全更生すべく、引いては之が亦基準となりて、個人負債も解決の曙光を見出す事も出来得様か、第二の手段として一致協力更生への道程を引き続き考中である。

(賀生)

副業養鶏赤裸々の記

過去六ヶ年間の決算

一時全盛たりし副業養鶏も今は點々として空の鶏舎ある風景。それは何を意味するか。失敗の原因は何より来るか。個々別々の條件はあるもの、大体は景氣により支配されたのだと思ふ。

昭和七年 収入總計 二六四四四圓四十三錢 支出總計 二六四四四圓四十三錢 利益金 〇圓

昭和八年 収入總計 二六四四四圓四十三錢 支出總計 二六四四四圓四十三錢 利益金 〇圓

昭和九年 収入總計 二六四四四圓四十三錢 支出總計 二六四四四圓四十三錢 利益金 〇圓

昭和十年 収入總計 二六四四四圓四十三錢 支出總計 二六四四四圓四十三錢 利益金 〇圓

昭和十一年 収入總計 二六四四四圓四十三錢 支出總計 二六四四四圓四十三錢 利益金 〇圓

桑園間作

シヨウガの栽培

桑園の間作としては従来より種々の作物が利用されておますが、最近しようがの栽培が囑望され片倉特約組合當りでも奨励するさうですが實際このしようがは、桑園間作として次の様な特徴があります。

正賀生

品種は近江、お多福、大、中小、金時等ありますが試験場の結果では金時中の二種がよろしい。この二種は亦都府移出にも一番適します。近時愛知、静岡、神奈川等の主産地では多年連作の爲め病菌の發生を見稍當惑の際處女地の當地で桑の副産物の産出をせざる利疑ふところなしです。

昭和十一年度 竜丘消防組年中行事

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 行日 (Date). Includes items like 春季演習, 秋季演習, 鎮火祈願祭, etc.

竜丘時報座談會

我が竜丘時報では有保證の五週年を迎へ既に第二號を恙なく發行して一號より二號へ二號より三號への躍進充實の過程にあります...

竜丘女子青年會 「會歌」を募ります

本年女子會の事業として會歌を作成する事に決定致し愈々左記要項に基き廣き範圍より大々的に募集致します...

お雛様の飾り方 順序を間違へぬやう

桃のお飾りも近々過ぎました。一年中仕舞ひ込んで置いたお雛様を取り出して飾りの準備をなすつていらつしやる事と思ひます。

高粱の栽培 家畜飼料と飯食の一助

家畜飼料の自給自足を計るために高粱の栽培を奨励する。高粱は高粱栽培地梗梗を原を視察したが反當り五石から九石、四五十圓の收穫をあげて居り、遠作が絶對になくヒ料や勞力も亦少なく荒廢地や桑園の跡地には絶好で一石二鳥の案さされてゐるが、家畜の飼料でなくとも飯食變りとして相當に食事が出来る...

傾向查詢

桐林男女青年會 幾多最大事件相續して起り人心動搖の時若き男女青年會員は如何なる考へを持つか？三月十五日十餘種を選びて無記名投票を以てし聽衆、整理一般全會員へ發表す

藝妓稅參考

藝妓置屋を川路村に設立されたその村の關係に昭和十年度分一ヶ年長野縣置屋組合縣聯合會へ届け済人員藝妓六人一人縣稅金八圓、六人分一ヶ月金四十八圓此の村稅金三十八圓四十圓一ヶ年分縣稅金五百七十六圓此村稅四百四十六圓八十圓此外藝妓六人に對する遊興稅責任一ヶ年額金三百十五圓此村稅金二百五十二圓藝妓六人に付村稅合計金六百九十八圓八十圓村稅收入に

生花講習會

桐林女子青年會 去月二十三日より五日迄桐林女子青年會に於いては生花講習會を開き、流派は遠州流にて講師は林安樹氏を依頼講習會生三十五名、稽古上げとして三月一日初午祭午後より各自の作品を陳列し一般に觀賞を依頼す

「火」について

朝起きてお母さんが御飯をたいたり、お湯をわかしたり、おしたちを煮たりするの火の火の火がぼしくなりまして。その火がなかつたら私達は虫やけもの、やうに、なまで物をたべなければなりません。又あかりも火ださ聞いておりました。あかりがなければ私たちが本を讀む事が出来ません。こんなだいな火でもそまつにするおそろしい大ごさになります。火事も火のおかけであります。お母さんの生れた家でも火事でまるやけになつた事があるお母さんに聞いたことがあります。まつちや火をいぢるこしかられますが、一そう氣をつけねばならぬと思ひます。

會歌制定十五週年 記念音樂會決算報告

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenses). Includes items like 收入總額, 青年會員賣上, 女子會員賣上, etc.

急告

初春の頃！肉を召上つて 乾揮一番！がん張つて下さい！ 肉精一切販賣 和洋會席 御料理 細井亭

絶勝風景 鑛泉保養

長野縣ホツキ 湯之瀨之湯 電話六一番

紀念撮影

是非一度 紀念撮影を 是非一度 あなたは若いのだもの... 時又觀音 福與寫真館

詩吟に就て

一生き好横一

近頃各地に詩吟が行はれるやうになつて頼もしい、僕も下手の横好きで青年時代から好んでやつたものだ。やはりやつたが我流、暴音でお恥しい、さうか今少し詩吟の品格本領さ云ふものを學びたいと切望してゐた。

この頃ラヂオで山田積善の『初めて詩吟を學ぶ人の爲に』と云ふ放送があつた、要綱十ヶ條大分よいと思ふので紹介する。

一、心の姿勢を正す事

詩は餘興ではない、嚴肅なものである、祈りである。鳴る鐘や響くニヨウハチではない。

二、身体を正しくする事、姿勢正しからざれば活きた聲は出ぬ。

三、眼を軽くつむる事、眼をつむつて精神統一し詩中のひそこなる。

四、呼吸を整へる事、然らざれば長続きがせぬ。騒音が出る。

五、曲音を避けて直音を出す。ウラ聲や、猫のなき聲や犬の吠えるやうなはいけな

い。正々堂々人間その者を聲を通して表現する様に

六、字毎の音を明瞭にする。七、飾り過ぎたり、ふし廻しを過ぎぬ事

八、リキミ過ぎ固くなり過ぎぬ事

九、間の長短を具合よくする亦前後の關係が調和を失はぬやうにする

十、聲の切目きれ目が氣合に初まつて氣合に終る事

彼岸に佛壇のお掃除

佛壇の器具は眞鍮製が多くこの眞鍮製の物は少し手入れを怠ると曇つたりさびたりします。之を磨くには一合五勺程の酢に、大さじ山盛二杯位の鹽を入れてから柔かい布につけて強くこする、奇麗になります。一度で奇麗にならなければ二度位下さいお線香立の灰も直ぐ固くなりますから、時々ふるつて柔か

彼岸に佛壇のお掃除

お掃除

漢文を學ぶ事だ。漢文は現代の人はえらく六ヶ敷いと思つておるやうだが、そんなに六ヶ敷いものではない。只六ヶ敷く思つて怖れておる丈だ。昔は子供が入学するに間もなく素讀み云つて教へられたものだ。讀んでる内に意味は自然に會得出来るのだ。

判るものではない。漢學の大家「根本通明先生」は大學であまり講釋をせずに讀書百遍に義自ら通すだ、大いに讀むべしと云はれたものだ。

小學の初めより大學の最高學府迄讀んで通す事もあると思ふ。面白いものだ。かくて其人の程度に從つて悟りは深淺があるのだ。それが智慧となり徳育となり、面白くやつておる中に知らず、人間の教養なるのだ。六十の手習い云ふ事もある、況んや青年に於てをやだ。

更生の爲めに

ふよ子

漢文云ふ席に氣のついた詩の讀方の間違を直す。英雄心緒亂如糸の緒は「チヨ」でなくて「シヨ」だ。少女爲送花一枝、之を「ヒトエダ」いふ人が多いが和文の時なら兎に角漢詩では音讀で「イツシ」云ふ方が適當だと思ふ。

「そんな事を云ふのではない人間を作る本の事よ」と日本の名手は茫然としてゐる。大家は曰く

「音楽は生きた人を動かす事だ。更に人を向上せしむる事だ。人間を作るに心なきおん樂者は蓄おん器のみ、ロボットののみ。推薦もるが先づ人間を作つて來い。」

忠魂碑の建設

無籍者

私は學校にて或は本にて、赤は昔の人々より見聽き致し、今日の余にも人心のすさまじつておるを歎じずにはおられない。現在の世相、他人はともあれ先ず己に、借りた物は少しも返却しない。これが當然の道でもあるかの様に少しも良心に恥ない。餘りにも利己的なこの現代。

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

御入學御進級のお支度は

三好野餅店

數々行はれてゐるのではないでせうか。亦天然の恵として何れの人も皆仲良く此の恵に浴する事の出来たるべきと思はれるものも、大なる資産を有する實業家の爲に權利を譲つてはばれて了ふ。今の世の先驅者として名をなす常を成したる人の中にはこうした利己的の下にぎん／＼他人には寸志の遠慮なく踏越へせしお金を得たひきこ成功せしたひきこ、そして多くの者よりうらやまれ、大威張り威張つてゐるのでせう。

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

早梅三題

賀壽雄

早梅吹く南の枝に春來れば若菜摘みける夢もおぼるに早梅吹く垣根の外に立たず春を知りにきおぼる夜の頃若菜摘む彌生の野邊の童子を

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

御入學御進級のお支度は

三好野餅店

數々行はれてゐるのではないでせうか。亦天然の恵として何れの人も皆仲良く此の恵に浴する事の出来たるべきと思はれるものも、大なる資産を有する實業家の爲に權利を譲つてはばれて了ふ。今の世の先驅者として名をなす常を成したる人の中にはこうした利己的の下にぎん／＼他人には寸志の遠慮なく踏越へせしお金を得たひきこ成功せしたひきこ、そして多くの者よりうらやまれ、大威張り威張つてゐるのでせう。

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

忠魂碑の建設

無籍者

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

「君は何か本を讀んだ事があるか？」

忠魂碑の建設

無籍者

「君は何か本を讀んだ事があるか？」